

ノーサイド

北原巖男

身に着けられるか、「品格」のある人・政治家・国家とは。

これについては、沢山の本が出版されています。男の品格、「女性の品格」、「議員の品格」、「政治家の品格」、「国家の品格」等々。

まさか、この「品格」の問題が、僕自身にも突然降りかかって来るとは思いもよりませんでした。年齢を重ねるに従い、少なくとも

予断を許さない現下の国際情勢や外交問題。そして先日 の参議院議員選挙など、国内外のさまざまな事象や動きを伝えるテレビ報道を見ていて、ふと気になる言葉が浮かんで参りました。

「品格」
どうすれば「品格」を

分けているのね」「そうかなあ？全然気が付かなかった。僕がこんなラフなシャツを着ていたからじゃないの？」

「……」

「〇〇さんもポロシャツ。服装の問題じゃないよ。品格の違いだと思う。品格」

「……」

驚きの格安海外ツアーで一緒になった〇〇さん夫妻。同じテーブルで歓談しながら夕食をしました。その直後に妻が発した最初の一言でした。思い当たるの

「……」

「……」

「……」

なのですが……

いつれにしても妻が、そんな僕と〇〇さんを見比べ、明確な「差」を付けていたとは……

怖ろしいというか、恋人同士の時代だったらと思うとソツとしました。僕を見ていたとき妻の視線や心中

「……」

「……」

「……」

「……」

おじんの品格

なって仕方ありませんでした。そんな僕から見ても、彼は仕事かどことなく上品であり、小柄ですが背筋はピンと伸び、穏やかな話し方をされ、笑顔も素敵な方でした。食事時も背筋は伸び、優雅さが漂っているようにさえ見えて来ました。

同時に僕自身のことも見えて来ました。僕は、今からでも彼のようにありたいと決意するに至りました。

「品格」や「気品」、「上品さ」は、一朝一夕で身につくものではありません。でも、それに向けた努力を怠るのに遅すぎることもまた無いはず。

「……」

「……」

「……」

「……」

問題をどのように捉え、ご自身をどう見えていますでしょうか？

妻に宣言しました。「これからは意識して背筋を伸ばし、姿勢を正して行く。いつもイライラすることもしない。おじんの品格だ」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

北原 巖男

(きたはらいわお)

元防衛施設庁長官。元東ティモール大使。現(一社)日本東ティモール協会会長。(公社)隊友会理事